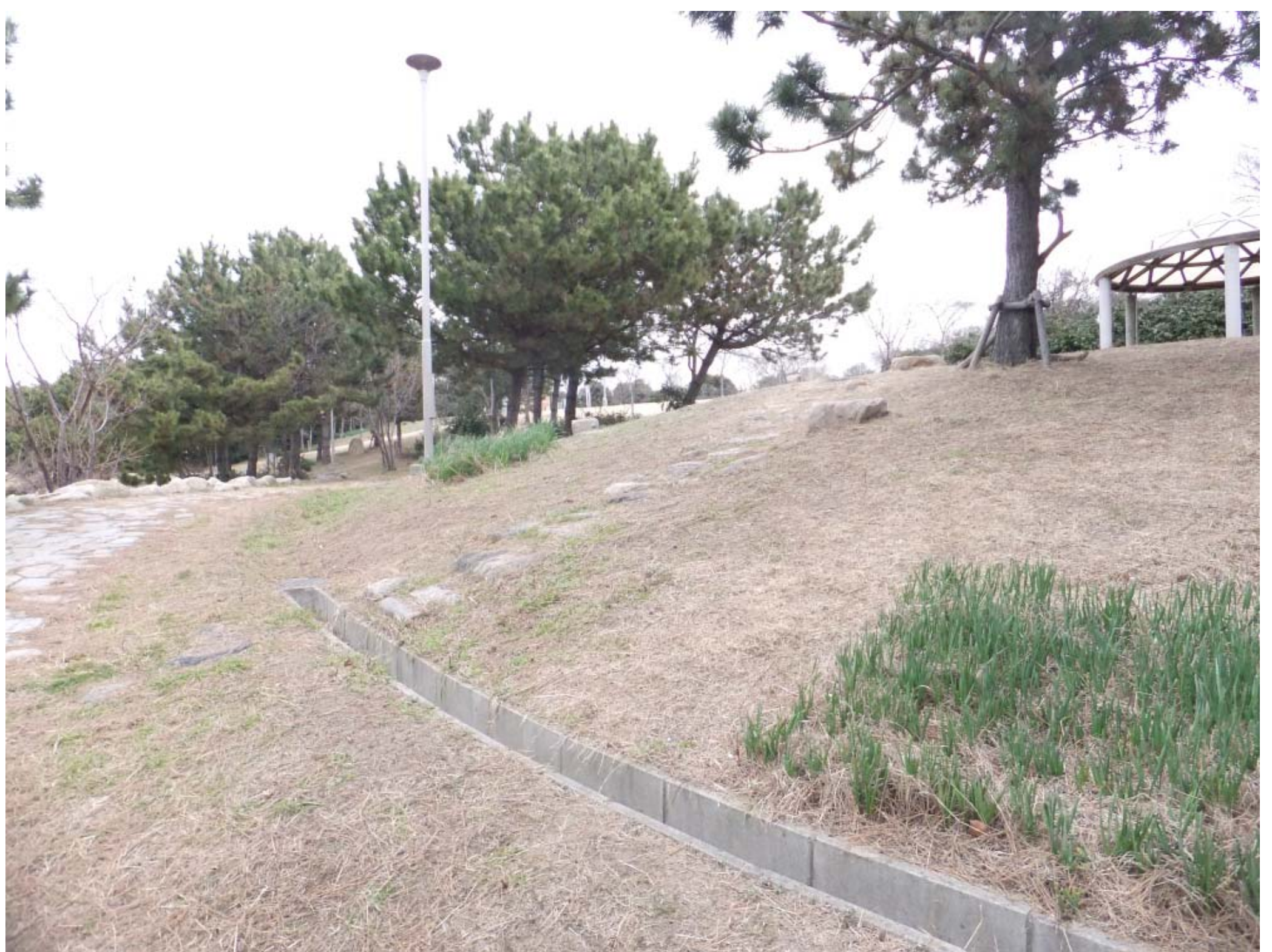




ハマエンドウ
ツツジ

















ササゴイ (Sasagoi)

ササゴイは、秋に多く見られる鳥です。体色は青みがかった灰色で、嘴は黒く、脚は赤褐色です。主に水辺や田舎の環境で生息し、群をなして行動します。

秋に周辺で見られる野鳥たち

<p>トウネン (Tounen)</p> <p>トウネンは、秋に多く見られる鳥です。体色は茶色で、嘴は黒く、脚は赤褐色です。主に水辺や田舎の環境で生息し、群をなして行動します。</p>	<p>ハマシギ (Hamashigi)</p> <p>ハマシギは、秋に多く見られる鳥です。体色は茶色で、嘴は黒く、脚は赤褐色です。主に水辺や田舎の環境で生息し、群をなして行動します。</p>	<p>キアシシギ (Kiasishigi)</p> <p>キアシシギは、秋に多く見られる鳥です。体色は茶色で、嘴は黒く、脚は赤褐色です。主に水辺や田舎の環境で生息し、群をなして行動します。</p>	<p>イソシギ (Ishisigi)</p> <p>イソシギは、秋に多く見られる鳥です。体色は茶色で、嘴は黒く、脚は赤褐色です。主に水辺や田舎の環境で生息し、群をなして行動します。</p>	<p>チュウシャクシギ (Chushakushigi)</p> <p>チュウシャクシギは、秋に多く見られる鳥です。体色は茶色で、嘴は黒く、脚は赤褐色です。主に水辺や田舎の環境で生息し、群をなして行動します。</p>
---	--	---	---	--



春に周辺で見られる たち

ダイゼン

※ササドリ科

Poocetes graminea

全長17cm、翼長11cm、尾長7cm、嘴長1.5cm、脚長2.5cm、体重10g。夏は全身が黒く、冬は全身が茶色になる。夏は水辺で、冬は陸地で見られる。



メダイチドリ

※ササドリ科

Charadrius thersites

全長17cm、翼長11cm、尾長7cm、嘴長1.5cm、脚長2.5cm、体重10g。夏は全身が黒く、冬は全身が茶色になる。夏は水辺で、冬は陸地で見られる。



キョウジョシギ

※シギ科

Actinopus interpres

全長17cm、翼長11cm、尾長7cm、嘴長1.5cm、脚長2.5cm、体重10g。夏は全身が黒く、冬は全身が茶色になる。夏は水辺で、冬は陸地で見られる。



シロチドリ

※ササドリ科

Charadrius alexandrinus

全長17cm、翼長11cm、尾長7cm、嘴長1.5cm、脚長2.5cm、体重10g。夏は全身が黒く、冬は全身が茶色になる。夏は水辺で、冬は陸地で見られる。



ツバメ

※ツバメ科

Hirundo rustica

全長17cm、翼長11cm、尾長7cm、嘴長1.5cm、脚長2.5cm、体重10g。夏は全身が黒く、冬は全身が茶色になる。夏は水辺で、冬は陸地で見られる。



夏に周辺で見られる野鳥たち



オオヨシキリ

ヒタキ科

Acrocephalus arundinaceus

全長18.5cm。夏鳥として川原や沼地のヨシ原に渡来する。体色は黄褐色。ヨシ原の中でアオや黒虫を食する。ギョギョシキョギョシと鳴き声が大きな声で響く。



セッカ

ヒタキ科

Cisticola juncois

全長12.5cm。本州以南で繁殖し、冬には北のものは南へ移動する。川原などの草原でアオの葉を噛み合わせて長い線形の巣を作る。飛びながらピッピッと鳴く。



コチドリ

チドリ科

Charadrius dubius

全長15cm。越冬する個体もあるが、主に夏鳥として川の中流に渡来する。目のまわりが黄色。地面にくぼみを作って巣にする。昆虫を食す。ピピピと鳴く。



コアジサシ

カモメ科

Sterna albifrons

全長26cm。夏鳥として本州以南に渡来する。川原、海岸、埋立地で集団で繁殖する。くちばしは黄色く目の上は白い斑がある。水中に荷込んで魚を捕まえる。



ササゴイ

サギ科

Butorides striatus

全長51cm。夏鳥として本州以南の川に渡来する。目は黄色。朝と夜間は巣、昼間は活動し、魚やカエルを捕まえる。頭や頸部を水面に露出して魚を捕まえることもある。



秋に周辺で見られる野鳥たち

トウネン

シギ科

Calidris ruficollis

全長15cm。羽長として渡来する。夏羽では胸から脚にかけて赤っぽく、冬羽では白っぽくなる。喉は赤く、冬には白くなる。冬は、足の中の小動脈を露出させる。



ハマシギ

シギ科

Calidris alpina

全長20cm。羽長としては冬羽として干潟に渡来する。夏羽は体の上部は赤褐色、下に黒い帯がある。冬羽では上部が灰色、脚は白くなる。冬は、足の中の小動脈を露出させる。



キアシシギ

シギ科

Tringa brevipes

全長20cm。羽長として干潟、湖、水田に渡来する。背が赤褐色で、脚は黄色。夏羽は冬に比べて色の鮮やかさが、冬羽ではなくなる。アカイヤカニを食べる。ビュービューと鳴く。



イソシギ

シギ科

Tringa hypoleucos

全長20cm。北海道、本州、四国で繁殖し、冬には北の海に飛来する。羽は赤褐色で、脚は黄色。夏羽は冬に比べて色の鮮やかさが、冬羽ではなくなる。アカイヤカニを食べる。アローアローと鳴く。



チュウシャクシギ

シギ科

Numenius phaeopus

全長40cm。羽長として干潟、湖、水田に渡来する。脚は黒く、嘴が長く、冬には下に大きく曲がる。冬は、足の中の小動脈を露出させる。アローアローと鳴く。



冬に周辺で見られる野鳥たち



キンクロハジロ

Actitis falcata

カモ科



全長40cm、
冬は全身黒く、夏は
胸に赤い帯が現れ、
脚は黒い。湖沼や
沼に生息する。冬は
水辺に群を成して
越冬し、夏は陸地
に生息する。冬は
水辺に群を成して
越冬し、夏は陸地
に生息する。

ホシハジロ

Actitis leucorhoa

カモ科



全長40cm、
冬は全身黒く、夏は
胸に赤い帯が現れ、
脚は黒い。湖沼や
沼に生息する。冬は
水辺に群を成して
越冬し、夏は陸地
に生息する。冬は
水辺に群を成して
越冬し、夏は陸地
に生息する。

ユリカモメ

Larus fuscus

カモ科



全長40cm、
冬は全身黒く、夏は
胸に赤い帯が現れ、
脚は黒い。湖沼や
沼に生息する。冬は
水辺に群を成して
越冬し、夏は陸地
に生息する。冬は
水辺に群を成して
越冬し、夏は陸地
に生息する。

オナガガモ

Anas platyrhynchos

カモ科



全長40cm、
冬は全身黒く、夏は
胸に赤い帯が現れ、
脚は黒い。湖沼や
沼に生息する。冬は
水辺に群を成して
越冬し、夏は陸地
に生息する。冬は
水辺に群を成して
越冬し、夏は陸地
に生息する。

ヒドリガモ

Anas penelope

カモ科



全長40cm、
冬は全身黒く、夏は
胸に赤い帯が現れ、
脚は黒い。湖沼や
沼に生息する。冬は
水辺に群を成して
越冬し、夏は陸地
に生息する。冬は
水辺に群を成して
越冬し、夏は陸地
に生息する。

おねがい

緑地を利用する皆さんへ



ごみは
持ち帰りましょう。



遊泳禁止です。



施設を大切に。



潮だまりは
潮の満ち引きによって
極端に水位が変わります。
十分に注意しましょう。



釣りをされる方は
周囲に気をつけて
事故のないように。



柵の外にでるのは
危険です。



生き物を大切に
しましょう。

人の心を傷つけるような
落書きはやめましょう。
園内でたき火はやめましょう。



気温と湿度環境の緩和

葉から水分が蒸発するとき、水が多層の貯を運び去ります。このため葉のコンクリート面に対し、森林表面の湿度は、15℃も低いといわれています。



防音

樹木は、音を軽減する働きがあります。また、木の葉が風にそよぐ音や枝に遊ぶ野鳥の音などが、不快な騒音を消してくれます。



防風・防潮

樹林は、台風の時などの強風から私たちの家や人身を守ってくれます。



大気浄化

植物の光合成作用により二酸化炭素が吸収され、多量の酸素が放出されるため大気が浄化されます。

緑地の機能

緑、植物は、身の周りの環境をよくするためにいろいろな役に立っています。



生き物の棲息の場

土壌や樹木が良好な生態系の豊かな森林には多種多様な野生動物が暮らして生活しています。



酸素の供給

緑には、林と心モリ効果、リフレッシュさせる働きがあります。森林の大気をからだに近づけると「森林浴」といいます。

残された大阪湾の貴重な自然を未来へ引き継ぎましょう

大阪市 建設局

矢倉緑地

ここ矢倉緑地は、大阪市域の北西のはずれに位置し、淀川と神崎川の河口部で、大阪市内唯一の自然海岸緑地です。付近は江戸時代に新田として埋め立てられ農作物を生産していましたが、現在は工業地域になっています。この緑地は大気汚染対策緑地でもあり、緑による大気の浄化と海辺の自然の保全、周辺住民の憩いの場として機能しています。

■ 干潟

近年、都市近郊の海岸部がコンクリート護岸に変わる中、矢倉緑地は、市内で唯一、干潟が見られます。干潟には多くの生き物が集まります。

■ 潮だまり

ここでは磯の生物を観察したり、水遊びができるように、石を積んで潮だまりを作りました。満潮時と干潮時で水位が変わるので注意して遊びましょう。

■ あずまや(四阿)

緑地の中ほどにあずまやがあり、大阪湾を眺めながら休憩できます。



■ 野鳥観察所

神崎川河口に面して野鳥観察所があり、春～秋には干潟に多くシギ・チドリ、冬にはカモ類など多くの鳥が集います。静かに観察しましょう。

■ 芝生広場

小高い丘となった芝生広場は、大阪湾、神崎川、淀川が一望でき、お弁当を広げるのに最適です。ここちよい海風をうけながら、くつろいでください。

緑地で見られる磯の生物

川から海へと移りゆく河口、そこには様々な生き物が集まります。



シロチドリ

川の干潟や海岸に生んでいて、潮の干満などについで移動し、餌をさがす。羽が「フー」などと天音で鳴くときは巣が近くにあるのでそっと立ち去りましょう。



チュウシャクシギ

干潟の浅い水の中を泳ぎ、藻や小動物の死骸などを食べて食べます。4～5月と9～10月頃、干潟などに飛来する鳥類です。

イソガニ

甲羅3cm、内湾の岩や石のあいだで、もっとも普通に見られます。甲はほぼ四角で、全身の目には黄褐色の縦線があります。



ボラ

岸から数メートル以内で泳ぐ魚で、かなり汚れた水にも入ります。産卵する時には目玉に卵を、それを保卵でまわします。尻尾にひも状の小突起や産卵管を生じます。



ハゼ

体長10～25cm、河口や内湾に多く生息。夏には川に入り込むものがたくさんいます。おもに動物性プランクトンを食べます。寿命は1年または2年、正式には「ハゼ」といいます。

大阪市 建設局







ご迷惑をおかけします

維持管理作業をおこなっています

平成28年 3月31日まで
時間帯 8:00~17:00

福島維持作業

発注者 国土交通省 近畿地方整備局
淀川河川事務所 福島出張所
電話 06-6458-2102
施工者 株式会社 トーカイ
電話 06-6914-3000

作業内容説明図

株式会社 トーカイ

① 堤防の除草をしています！

除草工の必要性

- 河川堤防の変状の確認(円滑な水防活動)します
- 梅雨時期と台風時期に堤防を点検するため、年2回、実施します。

堤防除草の流れ



堤防除草の目的



② 河川内のごみ等を処分しています！

- 良好な河川空間の維持
- 洪水による流失防止
- 施設の的確な操作
- 主に不法投棄された塵芥等がある程度まとめて処理します。

不法投棄対策



流木対策



③ いろいろな補修作業をしています！

- 施設の健全化
- 河川の安全な利用

護岸補修



管理用道路補修



株式会社 トーカイ 本社
福島作業所

電話 06-61614715
電話 06-691413000

